

01 背景と目的

私にとって廃墟は、壁が崩壊していたり草が生い茂っていたり人を寄せつけないというイメージがある。しかし、友人との会話の中で、友人は私とは異なる廃墟のイメージを持っていた。また、私が美しいと思う廃墟でも、友人の中には怖いと言う人がいた。反対に、私にとって怖い廃墟でも美しいと感じる人がいた。このことから、誰もが「怖い」・「美しい」と思う廃墟はあるのだろうかという疑問を抱いた。

また、廃墟に関連する書籍が多く出版されている。廃墟の美学を説く書籍や、廃墟化した教会や観光名所、軍事施設、工場などの写真集が存在し、怖い廃墟や美しい廃墟に関わらず、廃墟自体が魅力的な存在ではないかと考えた。

そこで、本研究では、廃墟の持つ魅力と、誰もが廃墟を怖く・美しく感じるためにはどのような要素が必要なのか明らかにすることを目的とする。

02 方法

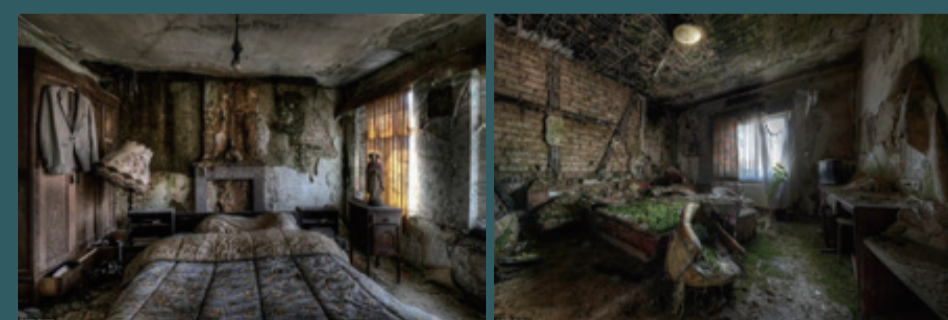
- ① 論文・文献の調査 … 廃墟の魅力、怖い廃墟と美しい廃墟の違いを調査
- ② 評価項目の作成 … 調査をもとに廃墟写真を収集し、評価項目を作成
- ③ アンケート調査 … 仮説が正しいか、アンケートで確認
- ④ 廃墟模型の制作 … これまでの研究をもとに模型を制作

05 怖さ・美しさの要素

廃墟の怖さ・美しさの要素は、表のとおりであることがわかった【表1】。

【表1】怖さ・美しさの要素

	怖さの要素	美しさの要素
壁・天井	大部分が崩れている	あまり崩れていない
壁紙	劣化が目立つ	劣化が少ない
錆	目立つ	少ない
室内	怖い	明るい
色	少ない・無彩色	多い・有彩色
物	人工物	自然物



【図2】怖い廃墟の例



【図3】美しい廃墟の例

怖いけれど美しい廃墟

また、怖いけれど美しい廃墟の要素は以下の通りであるとわかった。

怖さの要素 + 建物の形が美しい、自然物が目立つ、
建物があまり崩壊していない、色味が綺麗

03 学術論文・文献の検索

検索エンジン CiNii Research で学術論文と文献を検索した。

学術論文の検索

「廃墟」では 1299 件検出されたが本研究と関係ないものが多かったため、検索ワードを変更して再度検索したところ、以下が検出された。

- ・「廃墟 × 美学」：21 件
- ・「廃墟 × 崇拜」：11 件
- ・「廃墟 × 美しい」：2 件
- ・「廃墟 × 怖い」：0 件

廃墟の怖さと美しさの違いについて研究しているものはなく、本研究に類似するものは見られなかった。

学術論文では、廃墟の怖さと美しさの要素の違いについて述べているものがなかったため、廃墟写真が載っている写真集や図鑑から要素の違いを調査した。

文献の検索

「廃墟」で 451 件検出されたが本研究と関係ないものが多かったため、検索ワードを変更して再度検索したところ、以下が検出された。

- ・「廃墟 × 美しい」：9 件
- ・「廃墟 × 図鑑」：7 件
- ・「廃墟 × 美学」：1 件

該当した書籍は「04 廃墟の魅力」「05 怖さの要素・美しさの要素」を書く上で参考にした。

06 廃墟写真の収集

【表4】をもとに、怖さ・美しさ要素の含まれる廃墟写真をピンタレストより計 150 枚ランダムに収集した。

廃墟写真を選定する基準

廃墟写真を選定する際の基準は以下の通りである。

- ・建物の劣化・崩壊具合が見やすい
- ・建物の外観・内観が似ている写真がある
- ・怖い廃墟写真と美しい廃墟写真が同数になるようにする

以下の写真は収集した廃墟写真の一部である【図4】。



【図4】廃墟写真の一部

04 廃墟の魅力

廃墟の魅力は、学術論文から以下の3点に集約できた。

長い時間の経過
を感じさせる

- ・壁や天井の欠損
- ・錆や老朽化による表面の変化
- ・時間の経過による変化がわかる状態

ノスタルジーを
惹起する痕跡が
ある

- ・空間内の家具
- ・その場所を使用した形跡がわかる状態

人工的なものと
自然の共生を感
じさせる

- ・本来建物内に存在していない自生した植物や水たまり
- ・瓦礫やごみなどの散乱物が存在している状態



【図1】廃墟写真

07 評価項目の作成

収集した写真を【表1】をもとに怖い廃墟と美しい廃墟に分け、怖さ・美しさを感じる要素を抽出し、怖さと美しさを判別する評価項目を作成した【表2】。

この評価項目の各項目の「怖い」と「美しい」のどちらに多く当てはまるか比較し、どちらに多く当てはまったかで選定した写真が「怖い」か「美しい」か仮説を立て、各要素の仮説が正しいか検証するため、アンケートを実施した。

【表2】評価項目

項目	怖い	美しい
部屋・建物の明るさ	全体的に暗い	全体的に明るい
部屋・建物の色	全体的に無彩色が多い	全体的に有彩色が多い
外観・内観	素朴	豪華
家具・装飾	素朴	豪華
建物の劣化・崩壊	進んでいない	進んでいる
植物	植物・緑が少ない	植物・緑がある
窓・開口部	少ない	多い
光	おぼろげな光	はっきりとした光
物	散乱している	整頓されている
天気・時間帯	曇り・夜もしくは不明	晴れ・朝もしくは昼

08 アンケート

アンケートはその廃墟写真が怖いか美しいかを直感で選びやすくするため、回答の選択肢は「1. 怖い」「2. どちらかといえば怖い」「3. 両方」「4. どちらかといえば美しい」「5. 美しい」の5つとした。

アンケートに使用する写真は「06 廃墟写真の収集」で収集した写真からできるだけ外観・内観が似ているもので、対比可能になっているものをピックアップした。

本学の生活環境デザイン学科の学生 197 人を対象に、Google フォームを用いてアンケートを実施した【図 5】。



【図 5】 アンケート結果

10 模型の制作

怖い廃墟と美しい廃墟の定義

- **怖い廃墟**
全体的に暗い印象が強く、無彩色で生命力を感じないものであり、人工物が朽ち果てているもの
- **美しい廃墟**
全体的に明るい印象が強く、色鮮やかで生命力を感じるものであり、人工物と自然物が共生しているもの

模型のビルディングタイプの検討

- **どのような建物がこれから廃墟になる可能性が高いか**
倒産・廃業した商業施設、建物の老朽化が進んだ集合住宅、空き家
集合住宅…少子高齢化による人口減少から居住者の減少に繋がり、建物の老朽化が進行してもメンテナンスできず、廃墟になる可能性もっとも高いと考えた。
- **模型制作において気をつける点**
2つの模型を並べたときに比較しやすいこと、建物の用途や場所がわかりやすいこと、誰もが想像しやすい建物であること

この条件から、ワンルームマンションの一室について「怖い廃墟」と「美しい廃墟」を制作する。

アンケート結果より、怖さと美しさの要素について以下のことがわかった。

怖さに大きく関係している要素…建物が全体的に暗いこと

壁や天井が崩れていることは怖さに関係しておらず、あくまで付加的な要素である

美しさに大きく関係している要素…建物が全体的に明るいこと

植物による鮮やかな緑が映えている廃墟写真は美しいと感じる人が多かったため、美しい廃墟の特徴として挙げた色にも関係がある

09 仮説の検証

仮説とアンケート結果から、仮説の有効性を確認した【表 4】。

仮説とアンケート結果の比較

- 一致 (◎、○) … ①、②、③、④、⑤、⑥、⑨、⑩
- おおよそ一致 (△) … ⑦
- 不一致 (×) … ⑧

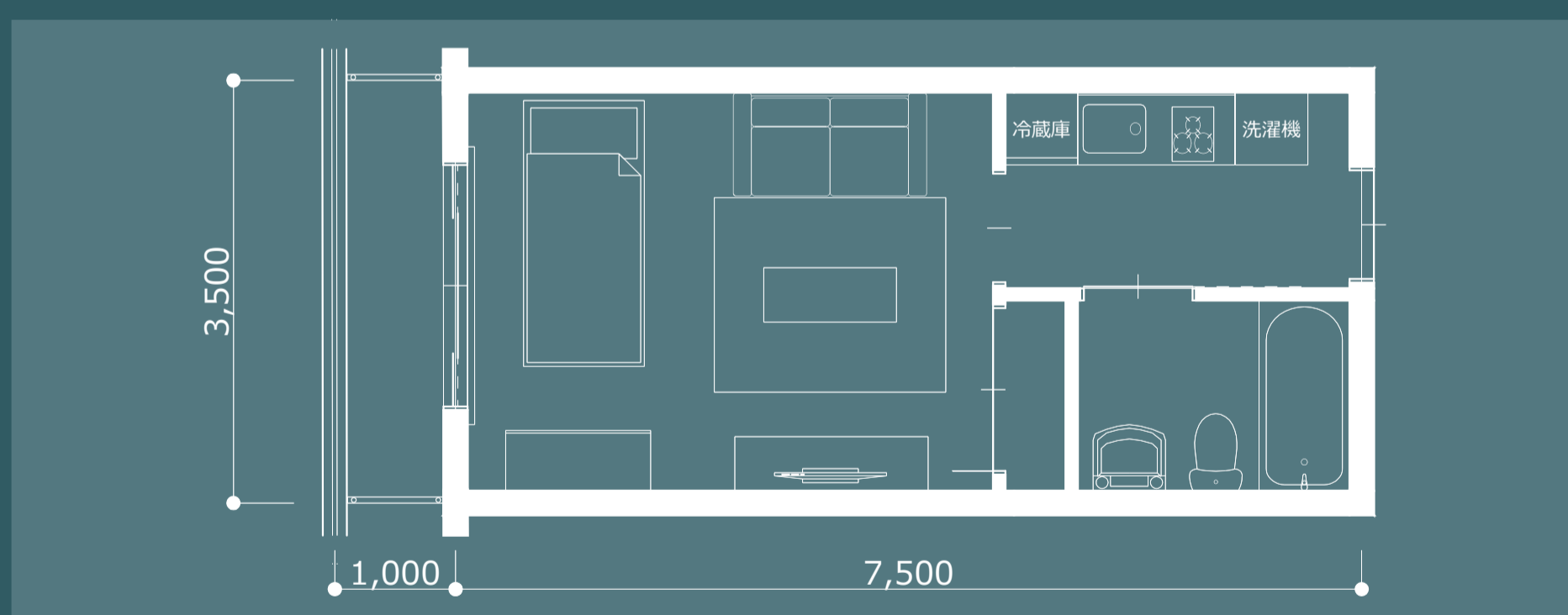
「質問⑧」は、家具や小物に装飾が多く部屋全体に視点が向かないことから、選定した写真が適切でなかったと考えられる。

仮説の有効性

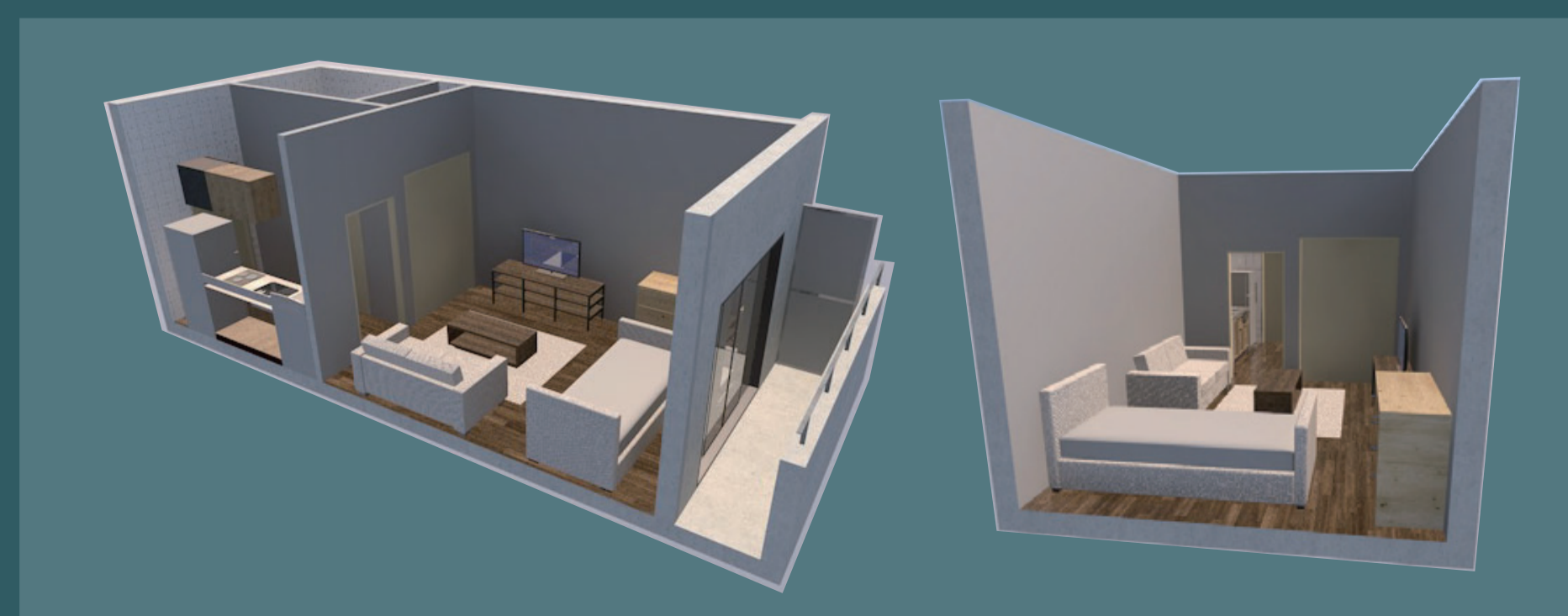
「質問⑧」以外の写真は結果が一致したため、「4. 廃墟の魅力」で述べた「怖い廃墟」と「美しい廃墟」の要素の仮説の妥当性が確認できた。

【表 4】 評価結果とアンケート結果の比較

質問	仮説	アンケート結果	仮説の有効性
①	どちらかといえば美しい	どちらかといえば美しい	◎
②	怖い	怖い	◎
③	どちらかといえば怖い	どちらかといえば怖い	◎
④	美しい	どちらかといえば美しい	○
⑤	どちらかといえば怖い	どちらかといえば怖い	◎
⑥	怖い	どちらかといえば怖い	○
⑦	両方	どちらとも言い難い	△
⑧	どちらかといえば美しい	どちらとも言い難い	×
⑨	美しい	美しい	◎
⑩	怖い	怖い	◎



【図 6】 ワンルームマンションの図面



【図 7】 廃墟になる前のイメージパース



【図 8】 怖い廃墟の模型写真



【図 9】 美しい廃墟の模型写真